

# みんなのみらいづくり

—キャンパスマスタープラン 2015—



国立大学法人 筑波技術大学  
Tukuba University of Technology

## はじめに

### 筑波技術大学「キャンパスマスタープラン 2015」策定の趣旨

2013年4月、施設環境防災委員会の元に「キャンパスマスタープラン作成ワーキンググループ」を立ち上げ、筑波技術大学としては2回目となるキャンパスマスタープランの策定に着手した。

2006年（平成18年）に作成した本学最初の「キャンパスマスタープラン 2006」ではファシリティマネジメントを前面に掲げて、大学におけるキャンパス・施設計画を策定していたが、現状の課題把握を基本とする限定的な整備目標となっていた。そこで今回の「キャンパスマスタープラン 2015」では聴覚障害者および視覚障害者の特性に配慮し、学部教育全体を通じた効果的・弾力的な学修ができるよう、知の拠点、新たな価値を生み出すキャンパス環境の創造・発展を目指して、本学の教育理念・教育方針や経営戦略等をふまえつつ、長期的な視点に立ったキャンパス全体の整備計画を提唱すると共に、現実的な短期・中期整備計画を作成した。

今回の「キャンパスマスタープラン 2015」は、教育やファシリティマネジメントの専門家である大学の将来の中核メンバーとなる若手中堅の教職員、当該WGメンバー、財務課施設係に加え、学長、理事、副学長、学部長、センター長、学科長の意見を広く取り込んでまとめた。

第一章で「キャンパスマスタープラン 2015」の基本目標をとりまとめ、第二章では「キャンパスマスタープラン 2006」策定以降の施設整備状況の総点検を行い、マスタープラン策定のための課題を明らかにする。第三章ではキャンパスマスタープランの基本コンセプトを明示し、第四章では長期的な視点からキャンパスの施設整備の基盤となる部門別計画を策定し、第五章では短期・中期実行計画をキャンパス毎にまとめる。

この「コミュニケーションと人々との繋がり」を促進するキャンパスマスタープランをプランとして終わらせることなく、施設関係の担当者のみならず、学内外の関係者が共通認識とすると共に、学長を中心とする執行部や各部局が、施設整備や運営計画を立案・執行する際に、常に念頭におくバイブル的な存在となるように改善・改革に努めて行く。

平成 27 年 6 月

筑波技術大学 施設環境防災委員会  
キャンパスマスタープラン作成ワーキング

# 筑波技術大学キャンパスマスタープラン 2015

## 目次

I. キャンパスマスタープラン策定の目的.....	02
1-1. キャンパスマスタープラン策定の目的 .....	02
1-2. キャンパスマスタープラン策定の流れ .....	02
1-3. 教育理念・教育方針.....	03
II. キャンパスの現状把握.....	04
2-1. 各キャンパスの位置づけ .....	04
2-2. 老朽化の状況.....	06
2-3. 施設整備の充足状況.....	09
III. キャンパスマスタープランの基本コンセプト.....	11
3-1. 基本方針 .....	11
3-2. 整備方針 .....	12
IV. 部門別計画（長期計画） .....	16
4-1. 交流軸の設定 .....	16
4-2. ゾーニング計画 .....	18
4-3. 交通計画.....	21
4-4. 緑化・屋外環境計画.....	23
4-5. ユニバーサルデザイン.....	25
4-6. 建物のデザインガイドライン .....	27
V. キャンパス・アクションプラン（短期・中期計画） .....	29
5-1. 天久保キャンパスのアクションプラン.....	30
5-2. 春日キャンパスのアクションプラン.....	32
5-3. 防災・設備計画.....	34
5-4. 事業計画スケジュール.....	35
資料：キャンパスマスタープラン作成 WG 委員名簿.....	36